

## &lt;図・写真&gt;



## &lt;材料・製作方法等&gt;

- ・ フォトブック（外側のみ）
- ・ クリップ大 2つ（テーブル固定用）
- ・ クリップ小 1つ
- ・ どっちもクリップ  
（曲がらないように固定したもの）
- ・ ひも
- ・ リング 2つ
- ・ 鈴
- ・ 滑り止めマット
- ・ マスキングテープ

## &lt;ねらい&gt;

- ・ フッ素容器を保健室に届けるという保健委員会の仕事を，児童の動きで行えるようにするために製作した。

## &lt;指導方法・留意点等&gt;

- ・ 日常生活の中でも取り組んでいる「握る」という動きを生かすようにした。
- ・ 児童が自分で持ち手（鈴）を探すように促した。そのため，握る部分の位置が適切になるように，ひもの長さでリングの位置を調整した。
- ・ フッ素容器が滑り落ちないように，滑り止めシートを部分的に付けた。
- ・ 持ち手部分は，握りやすく，振ると音が鳴る鈴にすることで，本人が意欲的に取り組めるようにした。

## &lt;指導経過・成果・課題・展望等&gt;

- ・ 保健委員会の仕事は，以前は，本人が手で握ってかごに入れるようにしていたが，実態として難しい状況であった。自立活動専任からの助言をもとに，児童ができる動きで仕事をするための教具を作った。初めは，持ち手の位置が適切でなく，児童の動きが物に反映されにくかったり，フッ素容器が移動しなかったりした。少しずつ調整しながら，本人にとって簡単過ぎず，難しすぎない程度の教具の使い方になるようにした。握って振ることで，音がするので，より意欲的に取り組むことができた。握り続けることも増え，「放す」という動きも学習課題として考えているところである。

- ・ 音楽の授業で，どんぐりを使った学習があり，どんぐりを太鼓の上に落として鳴らす活動で，この教具を使用した。今後も，様々な場面で活用できればと考えている。

